

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	備考参照／日本語コミュニケーションD (Japanese Communication D)		
担当者名 (Instructor)	井上 玲子(INOUE REIKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ICC1620	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	外国人留学生入試による入学者・9月入学者(日本語コース)・NEXUSプログラム生・PEACEプログラム生:自動登録, その他の学生:「その他」登録		

授業の目標(Course Objectives)

大学生活で必要となる基本的な日本語コミュニケーション能力とは何かを理解し、それが実際の大学生活の中で使えるようになる。具体的には、講義を聴いてノートがとれるようになること、ある程度短い時間でリアクションペーパーがまとめられるようになること、講義のレジюмеや一定程度の文章が読めるようになること、わかりやすいプレゼンテーションができるようになることを目標とする。

To understand the basic Japanese communication skills required for the campus life and to gain the ability to actually utilize these skills for daily living. In particular students should aim to become able to, take notes while listening to lectures; summarize their thoughts relatively quickly on the Reaction Paper; read lecture summaries and other texts at the requisite level; give presentations that are easily understandable.

授業の内容(Course Contents)

ノート・テーキング、リアクションペーパーのまとめ方、レジюмеの読み方・書き方、講義資料の読み方など、大学で学んでいく上で必要となる日本語コミュニケーションスキルを実践的に扱う。日常生活で使用する日本語と、大学の学びで必要とされる日本語は、まったく異なるものであるため、使用する語彙、文型など基礎的な事柄から丁寧に扱い、受講者一人一人の日本語の間違いを修正するとともに、日本語の発信力を高めていく。授業では、読む・書く・話す・聞くをバランスよく扱うが、特に「書く」および「プレゼンテーション」に焦点を当てて授業を進める。

Practical exercises will be carried out to develop Japanese communication skills for academic campus life, such as the ability to take notes; fill in the Reaction Paper; read and write summaries; and read lecture materials. Japanese used in everyday life is very different from the Japanese in academic life. Therefore, this class carefully works on the fundamentals, such as the terminology and sentence patterns, and correct mistakes in each and every student's Japanese, in order to improve their communication skills. Classes include a good balance of reading, writing, speaking, and listening activities. However, they are conducted with a particular focus on writing and presentation skills.

授業計画(Course Schedule)

1. 科目の進め方, オリエンテーション。
2. 読解1、リアクションペーパー1、レポートの書き方1
3. 読解2、リアクションペーパー2、レポートの書き方2
4. 読解3、リアクションペーパー3、ミニ発表
5. 読解4、リアクションペーパー4、レポートの書き方3
6. 読解5、リアクションペーパー5、レポートの書き方4
7. 読解6、リアクションペーパー6、レポートの書き方5
8. 読解7、リアクションペーパー7、レポートの書き方6
9. 読解8、レポートの書き方7、プレゼンテーションスキル1
10. 読解9、レポートの書き方8、プレゼンテーションスキル2
11. 読解 10、レポートの書き方9、プレゼンテーションスキル3
12. プレゼンテーション
13. プレゼンテーション フィードバック
14. レポートフィードバック、振り返り

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

読解教材は、授業前に予習して、予習ノートを作成すること。レポート作成やプレゼンテーションの準備は、授業外の時間を使ってしっかり行うこと。

成績評価方法・基準(Evaluation)

参加度(30%) / 課題(30%) / プレゼンテーション(20%) / レポート(20%)

テキスト(Textbooks)

必要な場合、授業で指示するが、主にプリント教材を利用する。

参考文献(Readings)

必要な場合、適宜紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

- 1)この授業では、プレゼンテーション、発表などを積極的に取り入れる。
- 2)個々の課題へのフィードバックは次回の授業で実施する。スケジュールや内容は調整する場合がある。
- 3)原則として全ての授業回、対面実施を予定。

注意事項(Notice)